

【ご参考】 平成21年3月期決算短信 補足資料

1. 当期業績（連結）の概要

①当期決算のポイント

【業績】

売上高1,129.8億円（前期比△15.3%）、営業利益8.0億円（前期比△92.3%）、
経常利益11.7億円（前期比△89.3%）、当期利益△68.6億円。

*6期振りの減収、7期振りの営業・経常減益。連結決算公表開始以来、初の最終赤字。

【連結の範囲】

連結会社 36社（2社減少） 持分法適用会社 2社（増減なし）

*連結会社の減少は、ノリタケ機材(株)と(株)ノリタケジプサム、(株)ノリタケエンジニアリングと
(株)ノリタケリフラクトリーがそれぞれ合併したことによる。

【為替の影響】

15円の円高（前期118円→当期103円）により、売上高33億円、経常利益16億円減少。

【特別損失／構造改革費用等】

食器事業及び電子事業の再構築に着手。食器28.7億円、電子12.4億円の特別損失を計上。

【繰延税金資産の取崩し】

業績の悪化に伴い、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、25億円を取崩し。

【期末配当金】

期末配当2.5円／株（年間7.0円／株）に減配（前期年間9.0円／株）。

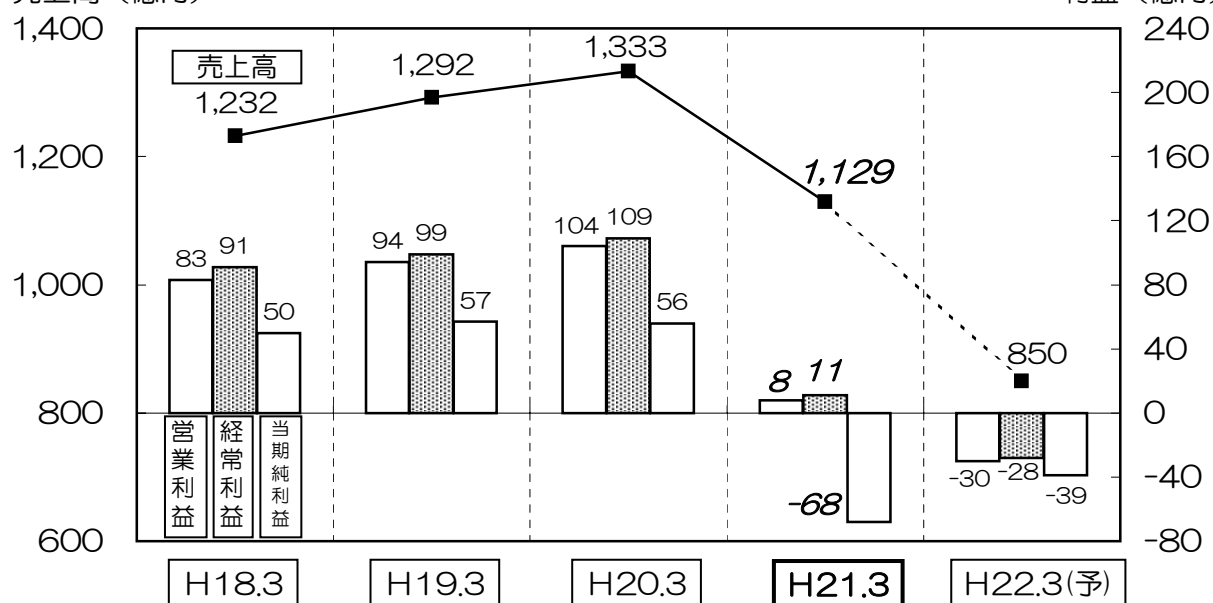
②期別業績推移

(単位：億円 未満切捨)

	H18.3		H19.3		H20.3		H21.3		H22.3 (予)	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	1,232	+4.1%	1,292	+4.9%	1,333	+3.2%	1,129	△15.3%	850	△24.8%
営業利益	83	+20.7%	94	+13.2%	104	+10.8%	8	△92.3%	△30	—
経常利益	91	+21.4%	99	+8.5%	109	+9.5%	11	△89.3%	△28	—
特別損益	△1	—	4	—	△7	—	△42	—	△8	—
税前利益	90	+33.9%	103	+15.4%	101	△2.2%	△30	—	△36	—
当期利益	50	+25.7%	57	+15.2%	56	△2.2%	△68	—	△39	—
US\$為替	111円		116円		118円		103円		90円	

売上高（億円）

利益（億円）



③人員数

(単位：人)

	前期 (H20.3)			当期 (H21.3)			前期比
	正規	非正規	合計	正規	非正規	合計	
単 独	203	12	215	213	18	231	16
国内グループ	3,432	1,329	4,761	2,936	952	3,888	△ 873
海外グループ	1,645	275	1,920	1,305	106	1,411	△ 509
合 計	5,280	1,616	6,896	4,454	1,076	5,530	△ 1,366

(注) 正規、非正規ともに期末人員数。非正規には、パート及び嘱託のほか、派遣社員も含まれている。

④設備投資

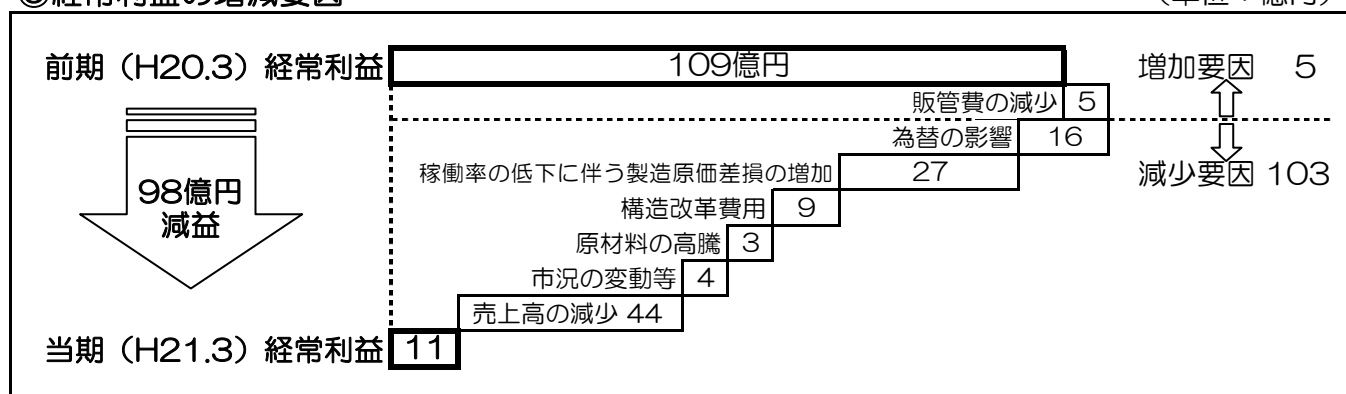
(単位：億円)

	前期 (H20.3)		当期 (H21.3)	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工 業 機 材	15	12	22	15
食 器	7	7	3	6
電 子	4	6	2	4
セラミック・マテリアル	18	10	14	11
環境エンジニアリング	2	2	4	3
管 理 部 門	5	3	6	3
合 計	51	40	51	42

(注) 当期における主な投資案件：工業機材／高効率一貫生産ラインの新設5億円
工業機材／ダイヤモンド工具増産設備4億円

⑤経常利益の増減要因

(単位：億円)



⑥特別損益

・特別利益

株式売却益2.2億円、固定資産売却益1.8億円ほか 合計4.6億円

・特別損失

(単位：億円)

	為替換算調整勘定取崩	特別退職金	固定資産処分損	投資有価証券評価損	減損損失	その他	合計
食 器	14.2	7.2	1.4	-	3.4	2.5	28.7
電 子	0.1	5.5	0.1	-	4.7	2.0	12.4
工業機材	-	1.9	1.0	-	1.4	0.2	4.5
そ の 他	-	-	0.9	0.2	0.0	0.2	1.3
合 計	14.3	14.6	3.4	0.2	9.5	4.9	46.9

*決算短信P/Lに記載の「事業構造改善費用」は、その内訳に対応した科目に再集計している。

⑦セグメント別業績

(単位：億円)

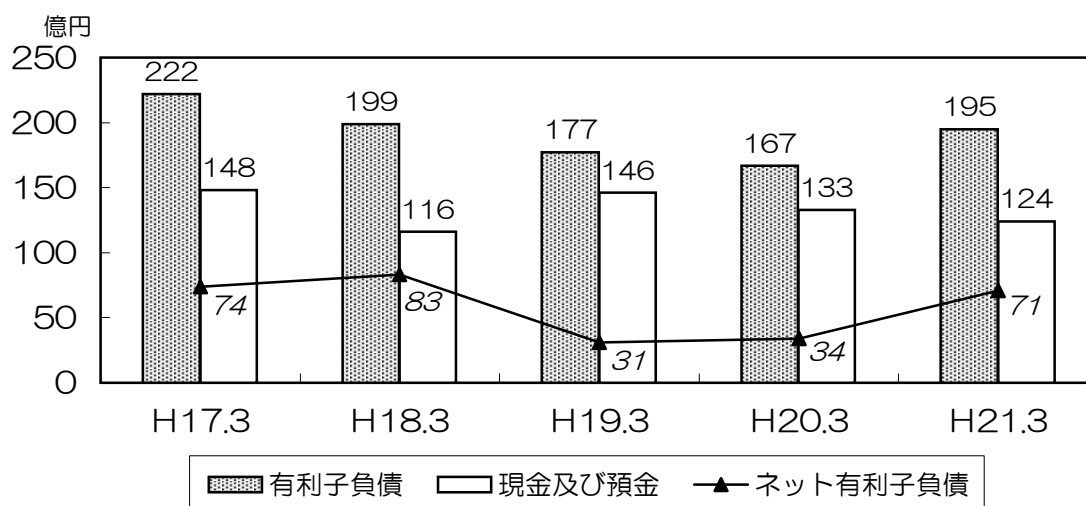
セグメント	前期 (H20.3)				当期 (H21.3)				
	売上高		営業利益		売上高			営業利益	
	金額	構成比	金額	利益率	金額	前期比	構成比	金額	利益率
工業機材	465	35	50.3	10.8%	387	△16.8%	34	1.1	0.3%
食器	177	13	△0.4	△0.2%	131	△26.0%	12	△21.6	△16.5%
電子	127	10	3.8	3.0%	104	△17.9%	9	△0.0	△0.0%
セラミック・マテリアル	332	25	34.2	10.3%	295	△11.1%	26	19.6	6.6%
環境エンジニアリング	232	17	17.0	7.3%	212	△8.7%	19	9.0	4.2%
合計	1,333	100	104.9	7.9%	1,129	△15.3%	100	8.0	0.7%

(注) 配賦不能営業費用(親会社の一般管理費用)を売上高比例により各セグメントに配賦している。

⑧有利子負債

(単位：億円)

	H17.3	H18.3	H19.3	H20.3	H21.3
有利子負債	222	199	177	167	195
現金及び預金	148	116	146	133	124
ネット有利子負債	74	83	31	34	71



⑨配当金及び株価

		前々期 (H19.3)	前期 (H20.3)	当期 (H21.3)
当社	1株当たり配当金	中間期末	4.5円	4.5円
		期末	4.5円	4.5円
		年間計	9.0円	9.0円
	1株当たり当期純利益	39.20円	38.36円	△46.82円
	自己資本当期純利益率	7.5%	7.2%	△9.8%
	1株当たり純資産	536.24円	528.40円	432.49円
	株価(期末日)	588円	400円	271円
日経平均株価(期末日)		17,287.65円	12,525.54円	8,109.53円

2. 来期業績予想（連結）の概要

①来期における重点施策

【太陽光発電をはじめとした環境関連製品に注力】

太陽光発電向け電極用ペースト、シリコン切断用ダイヤモンドワイヤー、シリコン溶融炉等の開発・拡販強化。H21年2月、中国に電極用ペースト製造合弁会社「常州億晶太陽能漿料製造有限公司」を設立し、同年7月より稼働予定。燃料電池向け新製品・新技術の開発に注力。

【経営環境悪化への対応】

売上高900億円（過去最高であるH20年3月期売上高の約70%）で採算がとれる体制作りを推進。

【製造の海外シフト】

製造コスト削減とアジア等成長市場の開拓を目的として、製造の海外シフトを推進。

【分社化体制の見直し】

組織の効率化と力の結集を図ることを目的として、H14年4月以降続けてきた分社化体制を改め、本社一体型の経営体制へ移行。今後2～3年内に主要なグループ会社を本社へ統合。

【設備投資計画】

設備投資40億円（H21年3月期実績51億円）、減価償却費35億円（H21年3月期実績42億円）
 主要な設備投資案件：工業機材 / 生産ライン新增設5億円

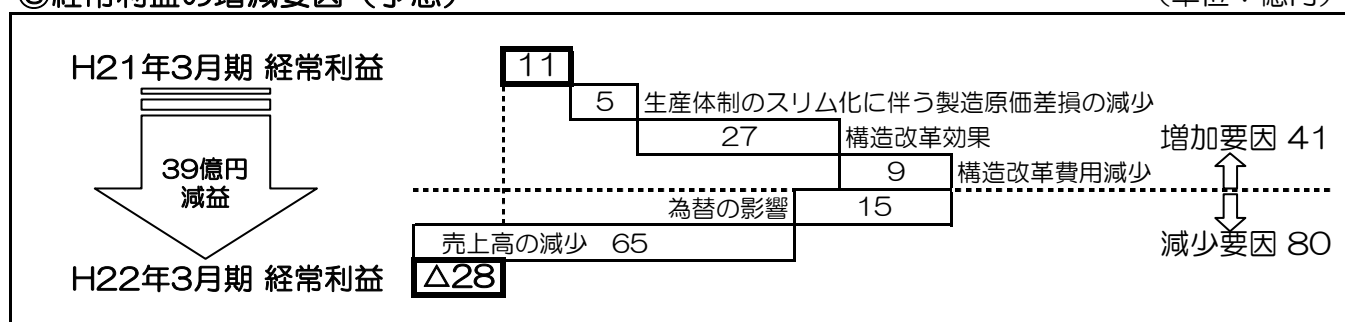
②業績予想

（単位：億円 未満切捨）

	H21年3月期			H22年3月期（予想）				
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	通期増減	増減率
売上高	668	461	1,129	400	450	850	△279	△24.8%
営業利益	35	△27	8	△28	△2	△30	△38	—
経常利益	37	△25	11	△27	△1	△28	△39	—
特別損益	△28	△13	△42	△7	△1	△8	34	—
税前利益	8	△39	△30	△34	△2	△36	△6	—
当期純利益	△7	△61	△68	△34	△5	△39	29	—
US\$為替	103円			90円			13円の円高	

③経常利益の増減要因（予想）

（単位：億円）



④セグメント別業績予想

（単位：億円）

セグメント	H21年3月期				H22年3月期（予想）				
	売上高		営業利益		売上高			営業利益	
	金額	構成比	金額	利益率	金額	前期比	構成比	金額	利益率
工業機材	387	34	1.1	0.3%	292	△24.6%	34	△21.0	△7.2%
食器	131	12	△21.6	△16.5%	92	△29.8%	11	△7.0	△7.6%
電子	104	9	△0.0	△0.0%	60	△42.4%	7	0.0	0.0%
セラミック・マテリアル	295	26	19.6	6.6%	233	△21.0%	28	3.0	1.3%
環境ITソリューション	212	19	9.0	4.2%	173	△18.5%	20	△5.0	△2.9%
合計	1,129	100	8.0	0.7%	850	△24.8%	100	△30.0	△3.5%

（注）配賦不能営業費用（親会社の一般管理費用）を売上高比例により各セグメントに配賦している。
 以上